

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年2月4日

配布数 9

回収数 9

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクールJR吹田駅前

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 | 割合（％） | | | | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---|--|----|---------------|-----|--------|--------|---------------|-------|------|---|--|
| | | | | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか | 3 | 5 | 1 | 0 | 33.3% | 55.6% | 11.1% | 0.0% | ・相談室なども机上活動などで利用している。 ・使用機材の配置などは工夫が必要。 | ・現在も相談室等も療育をする場に変換させるなど行い、一カ所に 集中しない様に工夫し今後も随時改善いたします。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 5 | 3 | 1 | 0 | 55.6% | 33.3% | 11.1% | 0.0% | | ・配置人員的に厚労省の定める人員は充足できています。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化され た環境になっているか。また、障がいの 特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮が適切になさ れているか | 6 | 3 | 0 | 0 | 66.7% | 33.3% | 0.0% | 0.0% | | ・スケジュールなど個別に理解しやすい様に対応させてもらって います。今後もその方の理解度に合わせた対応をしていきます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動 に合わせた空間となっているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 業務 改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が参 画しているか | 7 | 2 | 0 | 0 | 77.8% | 22.2% | 0.0% | 0.0% | ・業務改善の提案は対象業務にて負荷を感じているものでしかで ず、業務をおろそかにしていることが課題。 | ・業務改善が必要な場合は口頭＋共有ファイルを通して職員間で 共有し改善について議論を行うようにします。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対 して事業所の評価を実施するとともに、保 護者等の意向等を把握し、業務改善につな げているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | ・毎回の振り返り時に保護者と話す機会は多く設定されている。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価 表の結果を踏まえ、事業所として自己評価 を行うとともに、その結果による支援の質 の評価及び改善の内容を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか | 7 | 2 | 0 | 0 | 77.8% | 22.2% | 0.0% | 0.0% | ・充分すぎるほど設定されている。 | 社内の研修（個人が選択できる研修、事例検討、その他緊急時対 応、権利擁護、虐待研修）制度に則って参加しています。それ以 外の研修についても業務上差し支えなければ参加してもらって います。 |
| 適切 な支 援の 提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 で、児童発達支援計画を作成しているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | ・書面と対面の2方向で必要なアセスメントが行われている。 | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使 用しているか | 7 | 2 | 0 | 0 | 77.8% | 22.2% | 0.0% | 0.0% | | 年齢に伴う発達状態を確認するようにしています。 |
| | 11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援（本人支援及び移行支 援）」、「家族支援」、「地域支援」で示 す支援内容から子どもの支援に必要な項目 が適切に選択され、その上で、具体的な支 援内容が設定されているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | ・支援内容は職員で会議を行い設定されている。 | |
| | 12 児童発達支援計画に沿った支援が行われて いるか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | ・具体的な支援内容に沿って行っている。 | |
| | 13 活動プログラムの立案をチームで行ってい るか | 7 | 2 | 0 | 0 | 77.8% | 22.2% | 0.0% | 0.0% | いつだってワン・チーム。 | 指導員の輪番制のため個別支援計画の具体的な支援内容にできる だけ具体的に記載しています。個別支援計画の会議はその時に出 て頂ける職員は全員出席し議論のうえ決定しています。 |
| | 14 活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | 個々の特性を大事にしている。 | |
| | 15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を 作成しているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 最近は個別のニーズが多い為、そちらにシフトしている。 | |
| | 16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 17 支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有しているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 18 日々の支援に関して記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支 援計画の見直しの必要性を判断しているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 関係 性 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が参画しているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | ・適切に対応している。 | |
| | 21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者 や関係機関と連携した支援を行っているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | ・適切に対応している。 | |
| | 22 移行支援として、保育所や認定こども園、 幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を 図っているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | ・適切に対応している。 | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|---|---|---|---|-------|--------|-------|-------|-------|---|--|
| 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 23 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | ・保護者との共有はできている。学校はあまり共有には乗り気ではない様子。 | 現在の利用児が通学する学校には今年度も聞き取りをする可能性があります。あくまで保護者とのニーズすり合わせが合致したうえでとなります。学校自体から当方の取り組み等について関心は低いですが、利用児や保護者への安心材料として可能な限り対応します。 |
| | 24 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | ・もっと開催すべき。 | 研修等の予定については来年度も今年度同様、職員・保護者双方に共有していきます。就業時間内でも希望があれば可能な限り出席してもらおう予定です。 |
| | 25 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 1 | 7 | 0 | 1 | 11.1% | 77.8% | 0.0% | 11.1% | ・地域の事業所連絡会などには参加しているが子ども部会への参加はできていない。 ・システムが構築されていない。 | 自立支援協議会への参加はテーマが児童～高齢者まで多岐にわたっており、児童関係の頻度もテーマも限られており、積極的にということには限界もあります。地域の子育て会議という点においては自治体に関わり合わせの上、事業者が参加可能ならば参加をするようにしていきます。 |
| | 26 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | ・毎回行っている。 | |
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 7 | 1 | 0 | 1 | 77.8% | 11.1% | 0.0% | 11.1% | | |
| | 28 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 29 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | ・必要時に実施している。 | |
| | 30 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 31 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | 0 | 1 | 0 | 88.9% | 0.0% | 11.1% | 0.0% | | |
| | 32 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 33 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 34 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 35 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 9 | 0 | 0 | 0 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 36 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 37 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 8 | 1 | 0 | 0 | 88.9% | 11.1% | 0.0% | 0.0% | | |
| 38 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 7 | 2 | 0 | 0 | 77.8% | 22.2% | 0.0% | 0.0% | | 研修は年に一度実施します。 | |